

県民の健康と栄養

～平成24年国民健康・栄養調査（鳥取県実施分集計結果）～

平成27年3月

鳥取県

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の対象及び客体	
2 調査項目及び実施時期	
3 集計及び解析方法、本書利用上の注意点	
II 結果の概要	7
第1部 生活習慣に関する状況	10
第2部 健康状態	19
(参考) 栄養素等及び食品群別摂取量の状況	22
III 集計表	25
第1部 栄養摂取状況調査の結果	25
(1) 栄養素等摂取量の平均値及び標準偏差、中央値〔年齢階級①〕	
(2) 栄養素等摂取量の平均値及び標準偏差、中央値〔年齢階級②〕	
(3) 栄養素等摂取量の平均値及び標準偏差、中央値〔年齢階級③〕	
(4) 脂肪エネルギー比率ごとの人数の割合	
(5) 食品群別摂取量の平均値及び標準偏差、中央値〔年齢階級①〕	
(6) 食品群別摂取量の平均値及び標準偏差、中央値〔年齢階級②〕	
(7) 食品群別摂取量の平均値及び標準偏差、中央値〔年齢階級③〕	
(8) 野菜類の摂取量区分ごとの人数の割合	
(9) 果実類(ジャムを除く)の摂取量区分ごとの人数の割合	
(10) 果実類(ジャムを除く)の摂取量の平均値及び標準偏差	
(11) 朝、昼、夕別にみた1日の食事情況	
(12) 仕事の種類	
第2部 身体状況調査の結果	83
(1) 身長・体重の平均値及び標準偏差	
(2) BMIの平均値及び標準偏差	
(3) BMIの状況	
(4) 腹囲の区分	
(5) BMI・腹囲の区分	
(6) 薬の服用状況	
(7) 血圧の状況〔血圧を下げる薬の使用者含む〕	
(8) 血圧の状況〔血圧を下げる薬の使用者除外〕	
(9) 収縮期(最高)・拡張期(最低)血圧の平均値及び標準偏差〔血圧を下げる薬の使用者含む〕	
(10) 収縮期(最高)・拡張期(最低)血圧の平均値及び標準偏差〔血圧を下げる薬の使用者除外〕	
(11) 収縮期(最高)血圧 140mmHg 以上の割合〔血圧を下げる薬の使用者含む〕	
(12) 収縮期(最高)・拡張期(最低)血圧の分布〔血圧を下げる薬の使用者含む〕	
(13) 収縮期(最高)・拡張期(最低)血圧の分布〔血圧を下げる薬の使用者除外〕	
(14) ヘモグロビン A1c(NGPS)の平均値及び標準偏差	
(15) 血清総コレステロール値の平均値及び標準偏差	
(16) 血清総コレステロール値 240mg/dl 以上の者の割合	
(17) 血清 HDL-コレステロール値の平均値及び標準偏差	

- (18) 血清 LDL-コレステロール値(直説法)の平均値及び標準偏差
- (19) 血清 LDL-コレステロール値(直説法)160mg/dl 以上の者の割合
- (20) 血清 nonHDL-コレステロール値の平均値及び標準偏差
- (21) メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の状況
- (22) 腹囲区分別, 血中脂質, 血圧, 血糖のいずれかのリスクを有する者の割合
- (23) 腹囲区分別, 血中脂質, 血圧, 血糖のリスクの保有状況〔全ての組合せ(①血中脂質
②血圧③血糖)〕
- (24) 「糖尿病が強く疑われる者」及び「糖尿病の可能性を否定できない者」の状況
- (25) 高血圧有症者の状況
- (26) 「脂質異常症が疑われる者」の状況
- (27) 運動習慣の有無
- (28) 1週間の運動日数
- (29) 運動を行う日の平均運動時間
- (30) 運動強度の状況
- (31) 歩数の平均値及び標準偏差
- (32) 歩行数の分布

第3部 生活習慣調査の結果125

- (1) 睡眠の休養の状況
- (2) 喫煙経験の有無
- (3) 現在の喫煙状況
- (4) 喫煙の状況－習慣的な喫煙の状況
- (5) 飲酒の頻度
- (6) 飲酒日の1日当たりの飲酒量
- (7) 飲酒習慣の状況
- (8) 生活習慣のリスクを高める量の飲酒をしている者の割合
- (9) 飲酒の頻度別、飲酒日の1日当たりの飲酒量
- (10) 歯科検診の受診状況
- (11) 糖尿病の指摘の状況
- (12) 糖尿病を指摘されたことがある者における治療の状況
- (13) 糖尿病が強く疑われる者における治療の状況
- (14) 健康づくりに関連したボランティア活動の実施状況
- (15) 高齢者の社会行動の状況

第4部 特殊集計147

- (1) 年齢調整集計
- (2) 全国値の換算

IV 参考資料159

- 1 健康づくり文化創造プラン(平成 25～29 年度)の指標に関するデータ年次推移
- 2 食のみやこととり～食育プラン～(平成 25～29 年度)の指標に関するデータ年次推移
- 3 国民健康・栄養調査、県民健康栄養調査との比較(自記式アンケート調査)
- 4 集計客対数の状況

V 国民健康・栄養調査について177

(厚生労働省. 平成24年国民健康・栄養調査報告書 抜粋)

参考文献

I 調査の概要

調査の概要

国民健康・栄養調査は、健康増進法（平成14年法律第103号）に基づき実施するもので、目的は、国民の身体の状態、栄養摂取量及び生活習慣の状態を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることである。

平成24年の重点項目は、糖尿病有病者等の推計人数と体格及び生活習慣に関する地域格差の把握であった。

本書は、平成24年国民健康・栄養調査のうち、鳥取県が調査を実施した結果をまとめたものである。

1 調査の対象及び集計客体（詳細は、平成24年国民健康・栄養調査報告書 p2-3, 9 参照）

(1) 調査の対象

全国の世帯及び世帯員を対象とし、平成22年国勢調査区のうち、後置番号が「1」（一般調査区）から層化無作為抽出した1道府県あたり10地区（人口規模が大きい東京都のみ15地区）の計475地区のすべての世帯の世帯員で、満1歳以上の者を調査客体とした（475地区内の世帯及び満1歳以上の世帯員の総数は、約23,750世帯/約61,000人）。

なお、鳥取県が調査を実施した地区及びその対象世帯数は表1のとおりであった。

表1 調査対象及び実施状況

	調査対象		調査実施状況*				
	地区数	世帯数	世帯数		世帯員数		
全国	475	24,555	-	(12,750)	-	(32,228)	
鳥取県	10	545	312	(272)	729	(823)	
(内訳)	鳥取市	4	206	121	(97)	250	(294)
	米子市	2	119	39	(36)	81	(87)
	倉吉市	1	42	36	(36)	131	(133)
	境港市	1	57	34	(31)	65	(77)
	岩美町	1	49	34	(33)	117	(123)
	日南町	1	72	48	(39)	85	(109)

* いずれかの調査に回答した世帯及び世帯員。

() 内は、栄養摂取状況調査の世帯状況に回答した世帯

(2) 集計客体

平成24年国民健康・栄養調査地区のうち、鳥取県が調査を実施した10地区の世帯及びこれを構成する満1歳以上の世帯員を集計客体とし、統計法（平成19年法律第53号）第33条の規定に基づく調査票情報の提供を受けて集計・解析を行った。

集計客体数は表2のとおりであった。

表2 年齢階級別集計客体数

男女計	身体状況調査		血液検査		栄養摂取状況調査		歩数測定		生活習慣調査	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
総数	701	100.0	278	100.0	729	100.0	534	100.0	678	100.0
1-6歳	26	3.7	0	0.0	32	4.4	0	0.0	0	0.0
7-14歳	32	4.6	0	0.0	50	6.9	0	0.0	0	0.0
15-19歳	11	1.6	0	0.0	29	4.0	0	0.0	0	0.0
20-29歳	54	7.7	14	5.0	49	6.7	44	8.2	61	9.0
30-39歳	69	9.8	22	7.9	69	9.5	59	11.0	81	11.9
40-49歳	91	13.0	43	15.5	87	11.9	81	15.2	93	13.7
50-59歳	95	13.6	32	11.5	96	13.2	83	15.5	103	15.2
60-69歳	137	19.5	68	24.5	130	17.8	118	22.1	135	19.9
70-79歳	116	16.5	71	25.5	116	15.9	96	18.0	126	18.6
80歳以上	70	10.0	28	10.1	71	9.7	53	9.9	79	11.7

男性	身体状況調査		血液検査		栄養摂取状況調査		歩数測定		生活習慣調査	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
総数	323	100.0	113	100.0	341	100.0	241	100.0	312	100.0
1-6歳	12	3.7	0	0.0	16	4.7	0	0.0	0	0.0
7-14歳	17	5.3	0	0.0	27	7.9	0	0.0	0	0.0
15-19歳	4	1.2	0	0.0	12	3.5	0	0.0	0	0.0
20-29歳	26	8.0	5	4.4	23	6.7	19	7.9	32	10.3
30-39歳	34	10.5	9	8.0	35	10.3	30	12.4	38	12.2
40-49歳	45	13.9	23	20.4	43	12.6	38	15.8	47	15.1
50-59歳	44	13.6	8	7.1	47	13.8	39	16.2	49	15.7
60-69歳	65	20.1	27	23.9	61	17.9	52	21.6	63	20.2
70-79歳	49	15.2	28	24.8	50	14.7	41	17.0	53	17.0
80歳以上	27	8.4	13	11.5	27	7.9	22	9.1	30	9.6

女性	身体状況調査		血液検査		栄養摂取状況調査		歩数測定		生活習慣調査	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
総数	378	100.0	165	100.0	388	100.0	293	100.0	366	100.0
1-6歳	14	3.7	0	0.0	16	4.1	0	0.0	0	0.0
7-14歳	15	4.0	0	0.0	23	5.9	0	0.0	0	0.0
15-19歳	7	1.9	0	0.0	17	4.4	0	0.0	0	0.0
20-29歳	28	7.4	9	5.5	26	6.7	25	8.5	29	7.9
30-39歳	35	9.3	13	7.9	34	8.8	29	9.9	43	11.7
40-49歳	46	12.2	20	12.1	44	11.3	43	14.7	46	12.6
50-59歳	51	13.5	24	14.5	49	12.6	44	15.0	54	14.8
60-69歳	72	19.0	41	24.8	69	17.8	66	22.5	72	19.7
70-79歳	67	17.7	43	26.1	66	17.0	55	18.8	73	19.9
80歳以上	43	11.4	15	9.1	44	11.3	31	10.6	49	13.4

各調査のうち、1項目以上回答した者の数。

2 調査項目及び実施時期(詳細は、平成24年国民健康・栄養調査報告書 p3-6 参照)

(1) 調査項目及び対象年齢

ア. 身体状況調査票

(ア) 身長(満1歳以上)

(イ) 体重(満1歳以上)

- (ウ) 腹囲 (満6歳以上)
- (エ) 血圧：収縮期 (最高) 血圧, 拡張期 (最低) 血圧 (満20歳以上) [2回測定]
- (オ) 血液検査 (満20歳以上)
- (カ) 問診 (満20歳以上)
 - ①血圧を下げる薬
 - ②脈の乱れを治す薬
 - ③インスリン注射または血糖を下げる薬
 - ④コレステロールを下げる薬
 - ⑤中性脂肪 (トリグリセライド) を下げる薬
 - ⑥運動習慣の有無と1週間の運動日数, 運動を行う日の平均運動時間, 運動の強さ

イ. 栄養摂取状況調査票 (満1歳以上)

- (ア) 世帯状況：氏名, 生年月日, 性別, 妊婦 (週数)・授乳婦別, 仕事の種類
- (イ) 食事状況：家庭食・調理済み食・外食・給食・その他の区分
- (ウ) 食物摂取状況：料理名, 食品名, 使用量, 廃棄量, 世帯ごとの案分比率
- (エ) 1日の身体活動量< 歩数> (満20歳以上)

ウ. 生活習慣調査票 (満20歳以上) [アンケート調査]

食生活, 身体活動・運動, 休養 (睡眠), 飲酒, 喫煙, 歯の健康等に関する生活習慣全般を把握する。

(2) 調査時期

11月中及びその前後一週間 (10月25日～12月7日) とした。

- ア. 身体状況調査：調査地区の実情を考慮して, もっとも高い受診率をあげうる日時 (複数日設定しても構わない)
- イ. 栄養摂取状況調査：日曜日及び祝祭日を除く任意の1日
- ウ. 生活習慣調査：調査期間中

3 集計及び解析方法、本書利用上の留意点

(詳細は、平成24年国民健康・栄養調査報告書 p8, 12-23 参照)

(1) 集計及び解析方法

本書は、平成24年国民健康・栄養調査のうち、鳥取県が調査を実施した結果をまとめたものである。

厚生労働省から調査票情報の提供 (統計法(平成19年法律第53号)第33条) を受けて、鳥取県が集計・解析を行った。

鳥取県は、集計の一部を株式会社エッグ (鳥取県米子市) に委託して行った。

(2) 本書利用上の留意点

- ア 栄養素等摂取量の算出には、「日本食品標準成分表2010 (文部科学省科学技術・学術審議会 資源調査分科会)」が使用されている。
- イ 食品群の分類では、「バター (小分類76)」と「動物性油脂 (小分類79)」は、動物性食品として取り扱われていることに注意を要する。また、平成13年国民栄養調査から、分類方法及び重量の算出方法が変更されているため、平成12年以前の調査と比較する際には注意を要する。
- ウ この調査は1日分の食事調査であり、その結果から中央値 (又は平均値) を情報として活用することはできるが、習慣的な摂取量の分布曲線を得ることはできない。
- エ 図表に掲載している数値は、四捨五入しているため内訳の合計と総数が一致しない場合がある。

